



<令和5年度 5月号>

令和5年4月28日

横浜市立新石川小学校

# 学校だより

【学校教育目標】

豊かなかかわりを通して  
ともに高め合い 主体的に取り組む子

学校 HP はこちらから

TEL911-6281 FAX912-4892



## 一粒万倍！

校長 小嶋 千里

新しい学年がスタートしてひと月が経ちます。朝、門に立っていると児童が元気いっぱいにあいさつをしてくれます。中には、少し不安そうな表情の児童もいて、おにいさん、おねえさんが手をつないでくれたり、声をかけたりしてくれています。保護者の皆様にも登下校への見守りや付き添いをありがとうございました。



校庭の藤棚の藤がきれいに咲きました。甘い香りがほのかにします。

カレンダーの暦に「一粒万倍日」という言葉が記されていました。一粒の粃（もみ）が成長し、万倍の豊かな稲穂の実りとなるという意味があり、自分の行動が大きく実を結ぶという、スタートにぴったりの言葉です。（ちなみに近々では5月9日が「一粒万倍日」です。）

学校生活の一年間では目標を立てたり振り返ったりする機会が何度ありますが、新年度は一番大きなスタートの機会です。校舎を回っていると、「〇年生でがんばりたいこと」の掲示が多く見られます。一つ一つ読んでみると、新しい学年で自分ががんばりたいことや楽しみなことが生き生きと記されています。

子どもたちを見ていると、紙を重ねるように日々少しずつ成長するときと、まるでジャンプするように一気に成長するときがあります。この時期の学校はジャンプ型の成長の時。「進級」という外的要素が子どもたちの内面に大きく影響するのでしょうか。新たな学年の期待にあふれ、表情や姿勢、振る舞いが大きく変化する様子に驚きと感動をもらいます。

子どもたちの「がんばろう」という内発的なエネルギーを、学びや体験の中で具体的な行動につながるよう、かかわる大人たちが一人ひとりの成長の場面を見取り、声をかけていきたいと思います。5月もどうぞよろしく願いいたします。